

ま も り た い

スキン-ケア、MDRPU予防用品

予防的スキンケア（外力保護ケア）のスタンダードに！

『まもりたい』の由来

1. 患者さんの皮膚を、守りたい（思い）・守り帯（道具）・守り隊（チーム）
2. 医療者を守りたい（メンタルヘルスケア）
3. 病院・施設での医療安全対策（リスク管理・安全の担保など）

用途：主に（高齢者の四肢）**脆弱な皮膚を外的要因から保護**する

目的：①患者さんの痛みの軽減・・・予防的スキンケア

②看護・介護ケアの統一・・・簡単装着・ケア時間の短縮

③医療費・医療物品の削減・・・スキンテア・MDRPUの低減・コスト削減

* スキン-ケア リスクアセスメント表

A:全身状態の観察	B:皮膚状態の観察
① 75歳以上である ② 日常生活自立度C ③ 抗凝固剤の内服 ④ ステロイドの長期使用 ⑤ 抗がん剤、放射線治療歴 ⑥ 脱水 ⑦ 低栄養（貧血含む） ⑧ 認知機能の低下	① 乾燥、鱗屑 ② 紫斑（皮下出血） ③ 浮腫 ④ 水疱 ⑤ 菲薄化し張りがない * ティッシュペーパー様

- 上記のうち1つでも該当すればリスクありと判断し予防策を実施
- B項目のうち1つでも該当すればまもりたい等を使用して皮膚損傷予防を実施

まもりたい使用方法



①サイズの選定（9cm or 12cm）
長さを計りカットする（手首-上腕）



②介助者が一度、自分の手にセットする
（**更衣介助**の際と同じ要領で）



③指先を保護しながら、皮膚に摩擦を与えないようにやさしく装着する



④圧迫やしわがないか確認
圧着部分が上（手背側）

※ 上腕部・大腿部で指1本程度が入る装着感！

まもりたい使用方法（その他）

- 手背の場合、ずれ予防のため一部カットし親指を出しておく



- ミトン、リムホルダーを使用する時は圧迫される位置を2-3重にする



※『まもりたい』は**どこで切ってもほつれません！**



※下肢に装着する際も同様の使用方法です
（足首-大腿まで保護します）

※交換は1回/週で行います（汚染時は適宜交換）

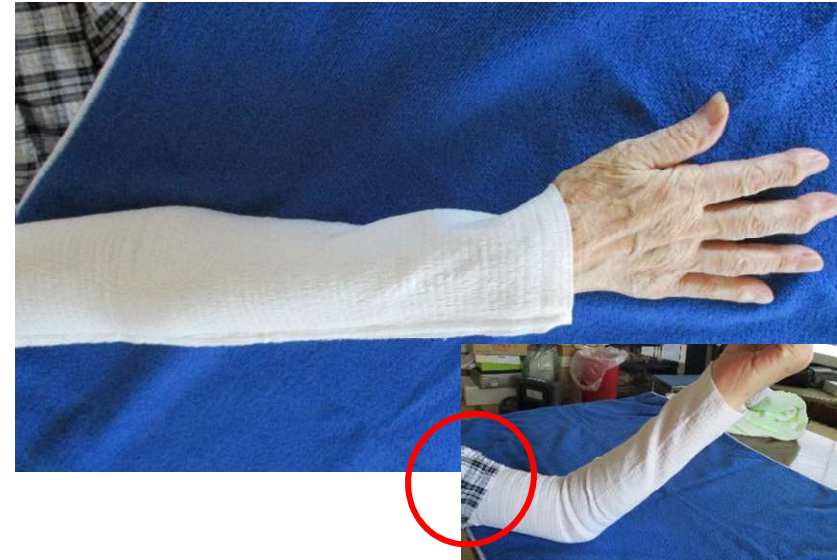
まもりたい使用時の注意！

- ① 継目を表にする (皮膚に継目が当たらないようにする)
- ② 適切な長さにカット (必要な長さを確認する)
- ③ しわを伸ばして着用 (しわによる皮膚障害を予防する)
- ④ 圧迫がないか確認 (過度なしめつけを避け、指1本入る程度)
- ⑤ 汚染時には交換する (ディスポーザブル製品)



実際の使用例 (まもりたい9 まもりたい12)

● 上肢への使用例



● 下肢への使用例

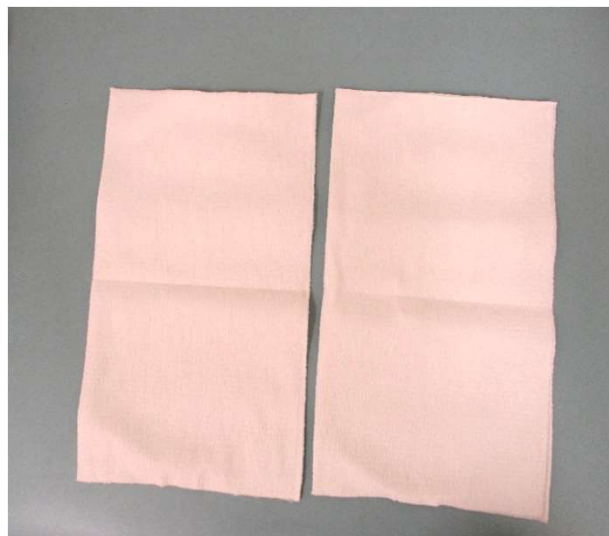


実際の使用例 (まもりたい20 まもりたい25)

- まもりたいを使用した頭部保護帽子の作成



①患者の頭部の大きさを確認
まもりたいのサイズを選択



②半分 (又は1/3) にカット



③先端を扇おりにして輪ゴム
でとめる



実際の使用例 (まもりたい25)

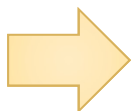
● 腹部へ



①創部にドレッシング又はガーゼを貼付

②まもりたいを装着するのみ

● 現状 (術後の状態)



①創部にドレッシング又はガーゼを貼付

②綿素材の術後腹帯を巻く

③更に、マジックテープ式のコルセットを巻く

Disposable product

まもりたい®

スキン-テア・MDR P U（医療機器関連圧迫創傷）対策製品

● スキン-テア予防対策



● サイズ（目安）

まもりたい 9

まもりたい 12

まもりたい 16

まもりたい 20

まもりたい 25

まもりたい 30



※ 装着される方に最適なサイズを選定してください。過度に絞めつけることは避けてください。

● 皮膚の脆弱性（スキン-テア 保有・既往）



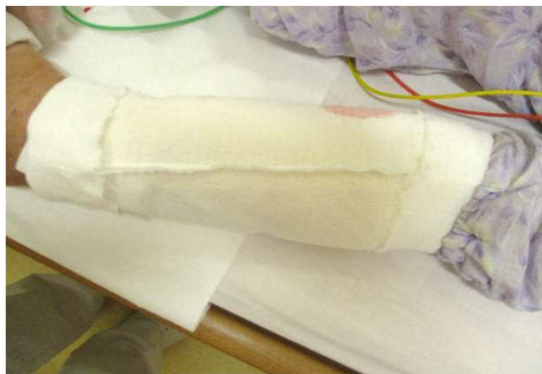
『ベスト プラクティス スキン-テア（皮膚裂傷）の予防と管理』

『スキン-テア クイックガイド』をご活用ください。



Report ～ まもりたい® の活用事例をご紹介 ～

＜テープを使用せずにガーゼを固定＞



＜まもりたい12,20を組み合わせ使用＞



＜点滴刺入部を観察できるようカット＞

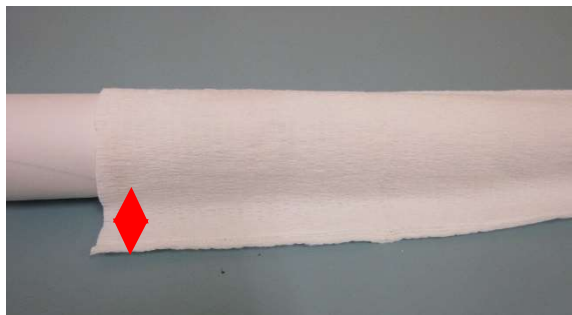


＜ネームバンドによる皮膚損傷予防＞





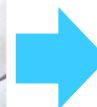
四肢の細い患者さんへは、
四肢のサイズに合わせて



医療用テープで固定する



医療機器本体のカバーに活用できる



 フットレストのカバーに活用できる



 ベッド柵のカバーに活用できる

